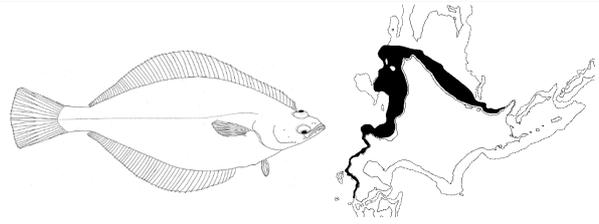


13.ソウハチ

主な漁業と漁期
 刺し網：主に4～7月
 沖合底びき網：9～翌4月



日本海～オホーツク海海域

生態

◆分布・回遊

オホーツク海から北海道西部日本海に分布します。成魚は水深100～220mまでで多く漁獲されますが、産卵期の夏期は水深50～60mの比較的浅い水域で漁獲されます。稚魚は冬期に徐々に浅い水深へと移動し、春期に水深20～70mに分布します。

◆産卵期・産卵場

◎産卵期は5～8月で、盛期は7月と考えられています。

◎産卵場は古平から石狩沖や、増毛から留萌沖の水深50～60mに形成されます。

◆成長・成熟

(8月時点)

	全長(cm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
1歳	9	9	6	6
2歳	15	15	29	31
3歳	19	20	60	70
4歳	22	23	87	116
5歳	23	26	108	161
6歳	24	28	123	201
7歳	25	29	133	235

*) 板谷・藤岡(2006)より
 *) 加齢の基準日：8月1日

◎成熟年齢・全長

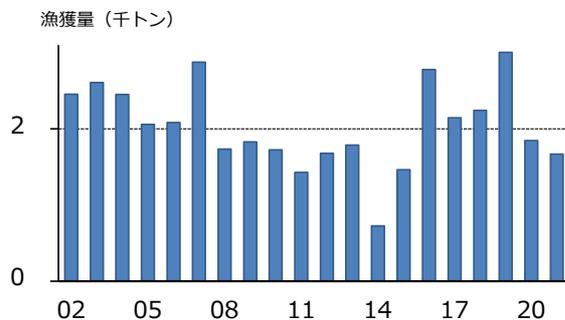
- ・オス：全長11cm、1歳から成熟する個体がみられ、全長17cm以上で半分以上が成熟します。
- ・メス：全長16cm、2歳から成熟する個体がみられ、全長22cm以上で半分以上が成熟します。

資源評価

[評価年] 8月～翌7月

[資源量の指標] 2歳以上雌の資源重量

2021年度の漁獲量は、1,667トンで前年よりも減少し、資源水準は中水準と判断されました。2歳魚が比較的多く加入することにより2022年度の資源量が増加すると予測されていることから、翌年にかけての動向は増加と判断されました。2015年度以降、若齢魚やオスへの漁獲圧が増加している可能性があります。資源管理協定を遵守し、若齢魚に偏った漁獲とならないよう注意が必要です。



2021年度
の水準



中水準

2022年度
の動向



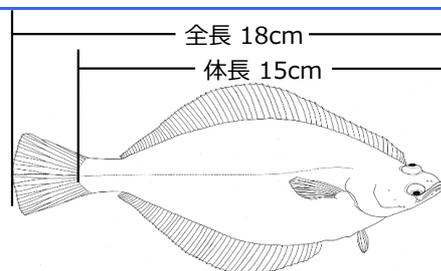
増加

※道総研が受託している国の資源評価調査のデータも利用して評価しています。

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

- 資源管理協定(2019年3月更新)
関係漁業者間で体長15cm又は全長18cm未満の未成魚保護を目的とする漁場移動や海中還元(底建網)を定めています。
- その他
漁業権行使規則等で操業期間、漁具の制限等を定めています。



☆若齢魚やオスへの漁獲圧が増加している可能性があります。資源管理協定を遵守し、若齢・小型魚に偏った漁獲とならないよう注意が必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
 北海道立総合研究機構 中央水産試験場資源管理部

電話 011-204-5477
 電話 0135-23-8707